

尿道ステント メモカス抜去方法

メモカス抜去に必要な器材

1. 膀胱鏡（硬性/軟性）
2. 異物鉗子（泌尿器科用：鱗口または有鉤の把持鉗子）
3. 灌流液（常温 / 場合によっては10℃以下の物も用意）
4. 10℃以下の冷水（滅菌精製水/生食 200～500cc）
5. 局所麻酔剤（麻酔の種類に準ずる）
6. 滅菌ドレープ（穴あき・受水パウチ等を含む）
7. シリンジ（容量50cc:冷水フラッシュ用）
8. 滅菌カップ 300cc（冷水用）
9. 手術用手袋・ガウン等（術者用）
10. 無鉤ドレッシングピンセット（消毒用）
11. ガーゼ

----以下、必要に応じて----

その他シリンジ / ガイドワイヤー / 造影剤 / 生理食塩水 / 膿盆
[冷水フラッシュの方法次第で不要となる器材有り]

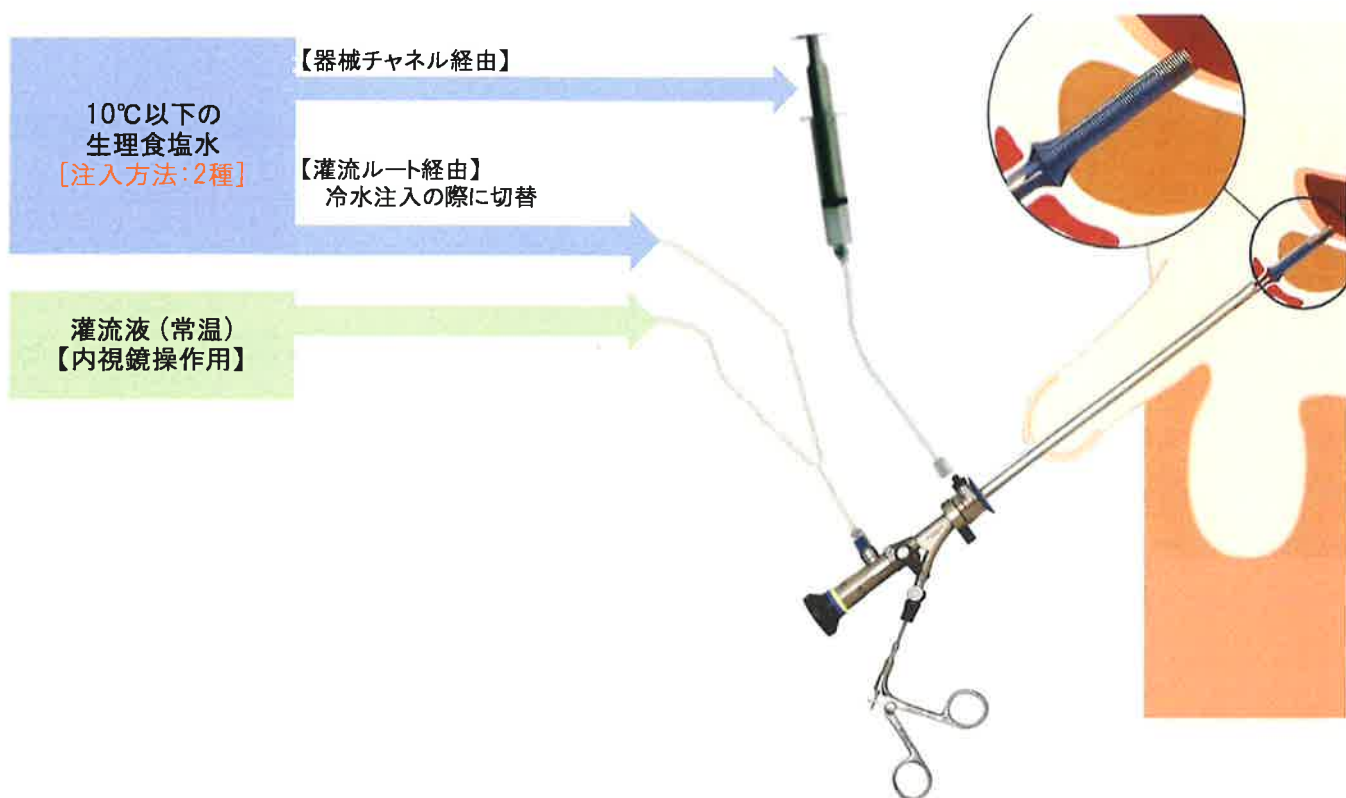
【メモカス 抜去方法】

- ① 尿道に十分な量の局所麻酔剤(キシロカインゼリー等)を注入。
- ② 必要に応じ、ガイドワイヤーの設置。
- ③ 膀胱鏡をメモカスの(膀胱)遠位端部付近まで挿入。
- ④ 内視鏡下において、異物鉗子を用いてメモカス遠位端のコイル2～3巻きを把持。
- ⑤ 把持した状態を保ったまま10℃以下の冷水をフラッシュ。(膀胱鏡の灌流チャンネルや輸液ルート経由にて行う)
- ⑥ 冷水と接触し弛んだメモカスの膀胱遠位端2～3巻を鉗子で把持しそのまま引く抜く。

【コイルがしっかり伸びない場合は冷水の温度をチェックし、適温のものを再度フラッシュする】

- ⑦ メモカスの抜去完了後、尿道・膀胱内の結石残存の有無などの確認のため、膀胱鏡を再度挿入し観察を行い、問題が無ければ膀胱鏡も抜去し、以上をもって終了となる。

内視鏡の視野外に位置するコイル部が問題なく伸びてきているかを確認する為、ステント抜去時は必ず透視機器を併用する事。




株式会社キースマック

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-2-8
TEL: 03-3292-2506 FAX: 03-3292-2507
E-Mail: info@kysmaq.co.jp
URL: http://www.kysmaq.co.jp

尿道ステント メモカス： 抜去時に必要なもの

項目	用途
① 膀胱鏡 [硬性 / 軟性]	ステント抜去時使用
② 異物把持鉗子 [鱗口 / 有鉤] ※①に適合する物	ステント抜去時使用
③ 冷水 (10℃以下: 生食 / 滅菌精製水 500cc程度)	ステント抜去時使用 (冷たい灌流液でも可)
④ 温度計 (接触式/非接触式)	冷水: 水温測定用 (必要に応じて)
⑤ 無鉤ドレッシングピンセット	消毒時使用
⑥ 消毒液 (ヒビテン等)	-
⑦ 手術用手袋 (滅菌等)	-
⑧ 滅菌ガーゼ	-
⑨ 滅菌ドレープ (穴あき・穴なし)	-
⑩ 受水パウチ	内視鏡操作時 併用品 (必要に応じて)
⑪ 麻酔剤 (選択される麻酔の種類に準ずる)	-
⑫ ディスポ シリンジ 50cc	冷水フラッシュ用 (冷たい灌流液併用の際は不要)
⑬ ディスポ カテーテルチップ 50cc	冷水フラッシュ用 / 尿道造影用 (必要に応じて)
⑭ 造影剤 (ウログラフィン・イオパミロン等) 40cc程度	尿道造影用 (必要に応じて)
⑮ 滅菌カップ 300cc程度	冷水用 / 尿道造影用 (必要に応じて)
⑯ 膿盆	抜去済ステント他・不衛生物回収用
⑰ イメージカバー	透視機器保護用
⑱ 膿盆	抜去済ステント他・不衛生物回収用
⑲ ガイドワイヤー	内視鏡操作時、進行方向の確認等 (状況に応じて)

 株式会社キースマック

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-2-8
TEL: 03-3292-2506 FAX: 03-3292-2507
E-Mail: info@kysmaq.co.jp
URL: <http://www.kysmaq.co.jp>